

TOPIC

全国連携プロジェクト会員登録数が390を突破！

- 特別区全国連携プロジェクトでは、「会員登録」を行った自治体が利用できる「会員専用ホームページ」（登録・利用料無料）があります。この度、会員登録数が390を突破しました！
- 「会員専用ホームページ」は、“掲示板”の形式で、各自治体の皆様と東京23区が書き込みを行うことで、連携・交流に関する情報を交換することができます。

<活用事例>

- ◆東京23区等に対し、新たな連携・交流事業を提案したいとき
- ◆東京23区等が実施しているイベントや事業に参加したいとき
- ◆自治体の施策や事業を広く周知したいとき
- ◆自治体のパンフレットを東京23区等で配布したいとき
- ◆自治体の広報誌や広報動画をPRしたいとき など



HP

- 現在、390を超える自治体・団体に「会員登録」をしていただいております。会員登録自治体との意見交換や、公式X（旧Twitter）で会員登録自治体の事業を発信・紹介する等の取組を積極的に行っています。
- 東京23区との連携・交流事業の実現に向け、ぜひ「会員登録」についてご検討ください。



特別区全国連携プロジェクト
公式X（旧Twitter）
@Zenkoku_Renkei

プロジェクトのイベント情報を発信するほか、連携している市町村のイベント情報なども発信します。

よろしければ、
フォローを
お願いします！



特別区全国連携プロジェクト【ホームページ】
<https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>
最新情報やイベント情報などを随時更新！

パソコン・スマートフォン・タブレット
からご覧いただけます

全国連携 Q検索



登録自治体の皆さまへ

日頃より特別区全国連携プロジェクトの推進にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。特別区全国連携プロジェクトはこれまで390を超える自治体の皆さまに登録をいただいております。会員用HPを効果的にご活用いただくために、担当者や担当部署、アドレス等に変更が生じた場合は登録情報の修正にご協力いただきますようお願いいたします。

特別区全国連携プロジェクトの事業実施にあたっては、特別区長会と公益財団法人特別区協議会が連携して取り組んでいます。

お問い合わせ

特別区全国連携プロジェクトに関するお問い合わせ

03-5210-9747

特別区長会事務局 調査第1課 全国連携プロジェクト担当

特別区全国連携プロジェクトの会員登録に関するお問い合わせ

03-5210-9080

公益財団法人特別区協議会 事業部事業推進課

東京23区

TOKYO 23 CITY

全国連携NEWS

日本を元気に！
23区から全国へ
全国から23区へ



特別区 全国連携プロジェクトとは？

東京を含む全国各地域とともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野で特別区（東京23区）と全国各地域が連携・交流事業を行う取り組みとして、平成26年9月に特別区長会が立ち上げたプロジェクトです。

京都市市町村・特別区の 自治体間連携への期待

令和7年度第1回全国連携講演会が令和7年8月12日に特別区職員研修所9階交流スペースにおいて開催され、京都市市長会・町村会を代表しまして、講演および対談に登壇しました。

第1部の講演は、「京都における観光地域づくり」という演題を頂きました。

京都市の観光というと、寺社、仏閣を抱える京都市の東山エリアが真っ先に思い浮かびますが、このエリアでは外国人観光客が非常に多く、オーバーツーリズムが深刻化しています。こうしたエリアへの旅行者と近隣住民の調和がより重要で、一部の集中した観光地域をいかに京都市域に分散させていくかが課題となっています。こうした状況に伴い、京都市域とはまた違う魅力を持つ、「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」「竹の里・乙訓」エリアにも是非来てもらいたいという話を、各DMO（官民の幅広い連携によって観光地域づくりを推進する法人）の職員とともにさせていただきました。

第2部では特別区長会会長 吉住健一 新宿区長と対談をしました。

国全体として減少している人口を東京と地方が取り合うことをしても効果的でなく、それぞれの自治体の魅力、特徴、個性をお互いが共有、発信し合い、関係人口を増やしていくことが、このプロジェクトのひとつの大きな意義であるとお伝えしました。

また、京都市市町村と特別区の今後の連携については、府内の単独の自治体単位では予算、人員の面から厳しい自治体も少なくないため、自治体単位というより広域のエリア単位等で参画できる仕組みがあると非常に連携しやすくなると考えており、一方で、このプロジェクトで始まった付き合いをいかに継続、浸透させていけるかが課題である旨、お話ししました。

吉住特別区長会会長からは、我々は各々地方にルーツを持っていて、同じこの国に住む仲間と共感でき、何かあった際には連携できることが重要であるということがこのプロジェクトの根源にあると話されていたことがとても興味深く感じました。

特別区全国連携プロジェクトを通して、お互いの情報発信を行い、観光等で地方を知り、何かを感じ取る。こうした機会をつくっていくことで、今後の関係人口が増加していくことを期待しています。



京都市市長会会長
中小路 健吾
（長岡京市長）

EVENT 令和7年度 第1回全国連携講演会

「京都における観光地域づくりと、 京都府市町村・特別区の自治体間連携への期待」

開催日：令和7年8月12日（火）

内容：開会あいさつ

○特別区長会 吉住 健一 会長（新宿区長）

第1部：講演

「京都における観光地域づくり」

【概要】 海の京都、森の京都、お茶の京都、竹の里・乙訓それぞれのエリアに属する自治体の紹介及び各DMO*の取組紹介

*DMOとは、ディステイネーション・マーケティング・オーガニゼーションの略で、官民の幅広い連携によって観光地域づくりを推進する法人を指す。

○京都市市長会 中小路 健吾 会長（長岡京市長）

○一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）

総合企画局長 亀谷 義忠 氏

○一般社団法人森の京都地域振興社（森の京都DMO）

総括部長 高橋 俊行 氏

○一般社団法人京都山城地域振興社（お茶の京都DMO）

総合企画局長 勝山 享 氏

講演の様子



第2部：対談

「京都府市町村・特別区の 自治体間連携への期待」

【概要】 特別区全国連携プロジェクトの意義や、連携・交流の実績と今後の展望、全国へのメッセージについて

○京都市市長会 中小路 健吾 会長（長岡京市長）

○特別区長会 吉住 健一 会長（新宿区長）

対談の様子



EVENT 京都府DMO職員と23区事務担当者との意見交換会

京都府内自治体と23区との円滑な連携促進を目的に、プロジェクトの新たな取組として、上記講演会当日午前に行われた特別区全国連携プロジェクト連絡会（全体会）において、講演会に登壇するDMO職員3名及び京都府職員等と23区事務担当者との間で交流会を実施しました。

交流会の様子



EVENT 巡回展示

10周年活動紹介パネル展

展示期間：令和7年5月12日（月）～6月20日（金）

展示内容：特別区全国連携プロジェクト10年のあゆみをパネルにて紹介
23区と各地域の連携実績及び成果をパネルにて紹介
被災地への特別区の対応をパネルにて紹介

会場：ECOM駿河台（環境や自然に関する様々な情報を発信し、地域の交流拠点となることを目指した三井住友海上火災保険株式会社の関連施設）

特別区全国連携プロジェクト発足から10年を迎え、より一層住民の目に触れる機会を創出し、更なる周知を図ることを目的として、巡回展示によるパネル展を実施しました。

*特別区長会と三井住友海上火災保険株式会社は、令和元年9月11日に包括連携協定を締結して以降、経営サポートセンターの活用や被災者生活再建支援サポートなど、幅広い分野で特別区全国連携プロジェクトの一層の推進に取り組んでいます。

展示の様子



EVENT 令和7年度 第1回全国連携展示

『歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 ～「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」「竹の里・乙訓」を巡る～』

展示期間：令和7年7月8日（火）～8月28日（木）

展示内容：京都府DMO（観光地域づくりを推進する法人）による「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」「竹の里・乙訓」の観光スポットをバナーにて紹介
京都府内を上記4エリアごとに分けた全市町村をパネルにて紹介
EXPO 2025大阪・関西万博への京都府の取組をタペストリーにて紹介
京都府全市町村の紹介動画を投影

令和7年度第1回全国連携展示では、京都市市長会・京都府町村会と連携事業を行い、23区との連携実績や、京都の観光スポットはもちろん、歴史や文化、自慢のグルメなど各地の多彩な魅力を幅広く紹介しました。

展示の様子

